

DAINICHI



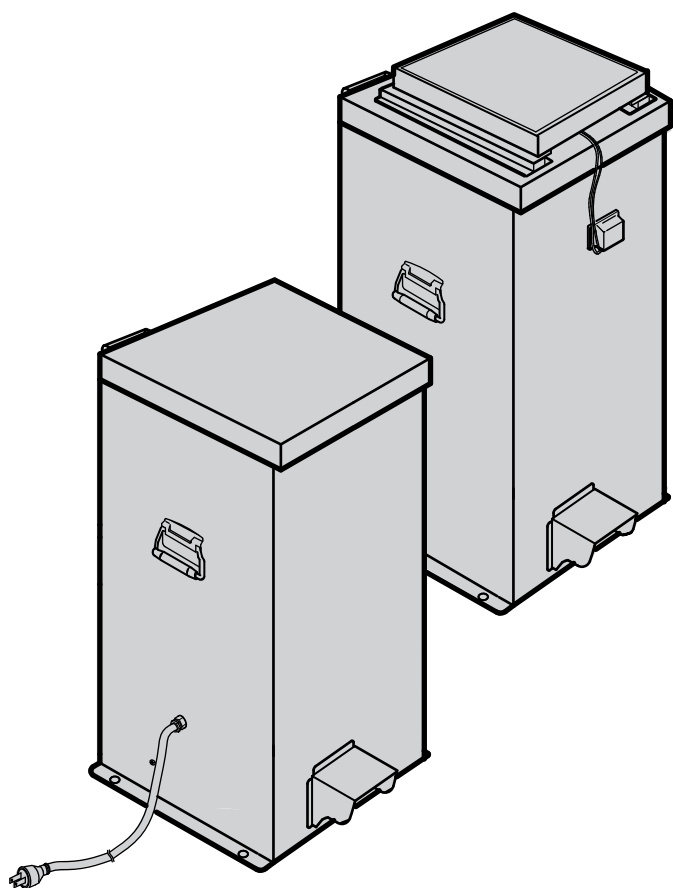
自動給餌機

CB-602

(ソーラー発電タイプ)

CB-612

(AC100V電源タイプ)



取扱説明書

目次

安全のために必ずお守りください	1
各部のなまえ	4
使用前の準備	7

手動運転の使いかた	12
タイマー運転の使いかた	13
現在時刻の合わせかた	13
給餌予約の合わせかた	14
タイマー運転の開始と表示確認	16
タイマー運転の停止	16
給餌予約の取り消しかた	17

点検・お手入れのしかた	19
保管のしかた (長期間使用しないとき)	23
異常のお知らせと処置方法	24
廃棄するときは	25
アフターサービス	26
仕 様	26

部品のご注文について 裏表紙

○このたびは、自動給餌機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。

○取扱説明書はご使用になる人がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。

ご使用前

使用上
の注意

点検・
その他

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって、次の2段階に区分しています。

マーク	危険の程度
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または、火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表しています。
(マークの中や周辺に具体的な内容が書かれています)

  	このマークは、してはいけない 禁止 を表しています。
  	このマークは、必ず実行していただく 指示 を表しています。
 	このマークは、 注意 を促す内容を表しています。

警告

雷雨時接近禁止

機器に落雷のおそれがあります。
雷雨時は餌の補給、メンテナンスなどで、機器に近づかないでください。

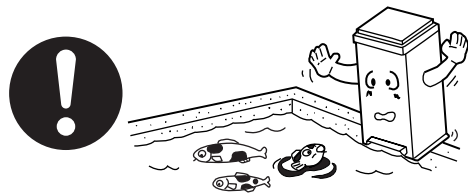


注意

CB-602・612

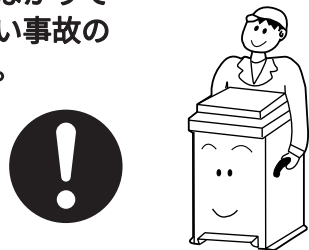
設置確認

機器が確実に固定されているか確認してください。不安定な場所に設置すると機器が転倒し、予想しない事故の原因になります。



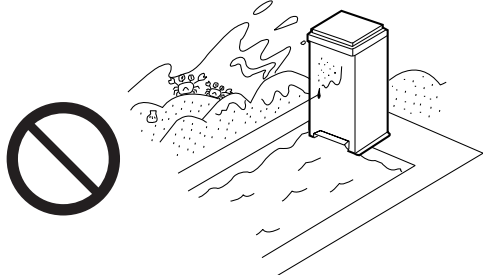
取手を持って移動

機器を移動するときは取手を持って移動してください。餌タンクふたハンドルなどを持つと、機器の破損ばかりでなく、予想しない事故の原因になります。



設置場所に注意

塩害の著しい場所、高温・多湿な場所では使用しないでください。
機器の損傷ばかりでなく、予想しない事故の原因になります。



ご使用前

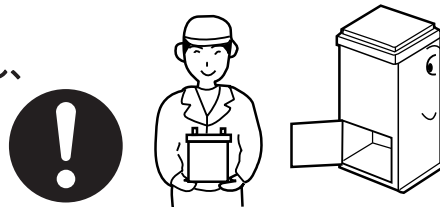
安全のために必ずお守りください

注意

CB-602

バッテリーの取扱いに注意

機器を移動するときは、機器からバッテリーを取り外し、移動してください。
バッテリー内の化学薬品が漏れ、予想しない事故の原因になります。



CB-612

アース線を接続すること

付属のアース棒にて、アースを確実に行ってください。
アースが不完全な場合は感電の原因になることがあります。



漏電ブレーカーを使用すること

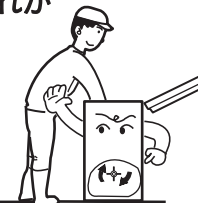
電源プラグは漏電ブレーカーに接続されているコンセントを使用してください。
感電や予想しない事故の原因になります。



CB-602・612

回転物注意

運転中、餌攪拌羽根は回っています。
絶対に指を入れないでください。
けがをするおそれがあります。



指を挟まないよう注意

餌タンクふたを閉めるときは指を挟まないよう注意してください。
けがをするおそれがあります。



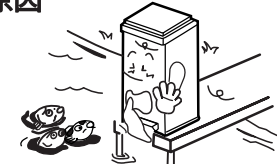
異常時使用禁止

異常を感じたときは使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。



餌吹出口閉そく禁止

餌吹出口が詰まっていたり、ふさがれていないことを確認してください。
閉そくしていると、性能を発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因になります。



餌タンク内に多量の餌が残った状態で新しい餌を補給しない

餌タンク内に多量の餌が残った状態で新しい餌を補給すると、先に入れておいた餌が残る場合があります。長期間残った餌は変質のおそれがあります。



CB-602

ソーラーパネルの取扱いに注意

ソーラーパネルのほこり・ごみを拭き取ってください。性能を発揮できなくなるおそれがあります。また、ソーラーパネルの上に物を置かないでください。
破損の原因になります。



火気厳禁

機器の近くで火気を使用しないでください。
バッテリーから発生する水素ガスに引火し、火災の原因になります。



ご使用前

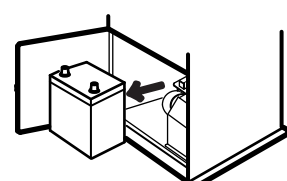
ご使用中

ご使用前

安全のために必ずお守りください

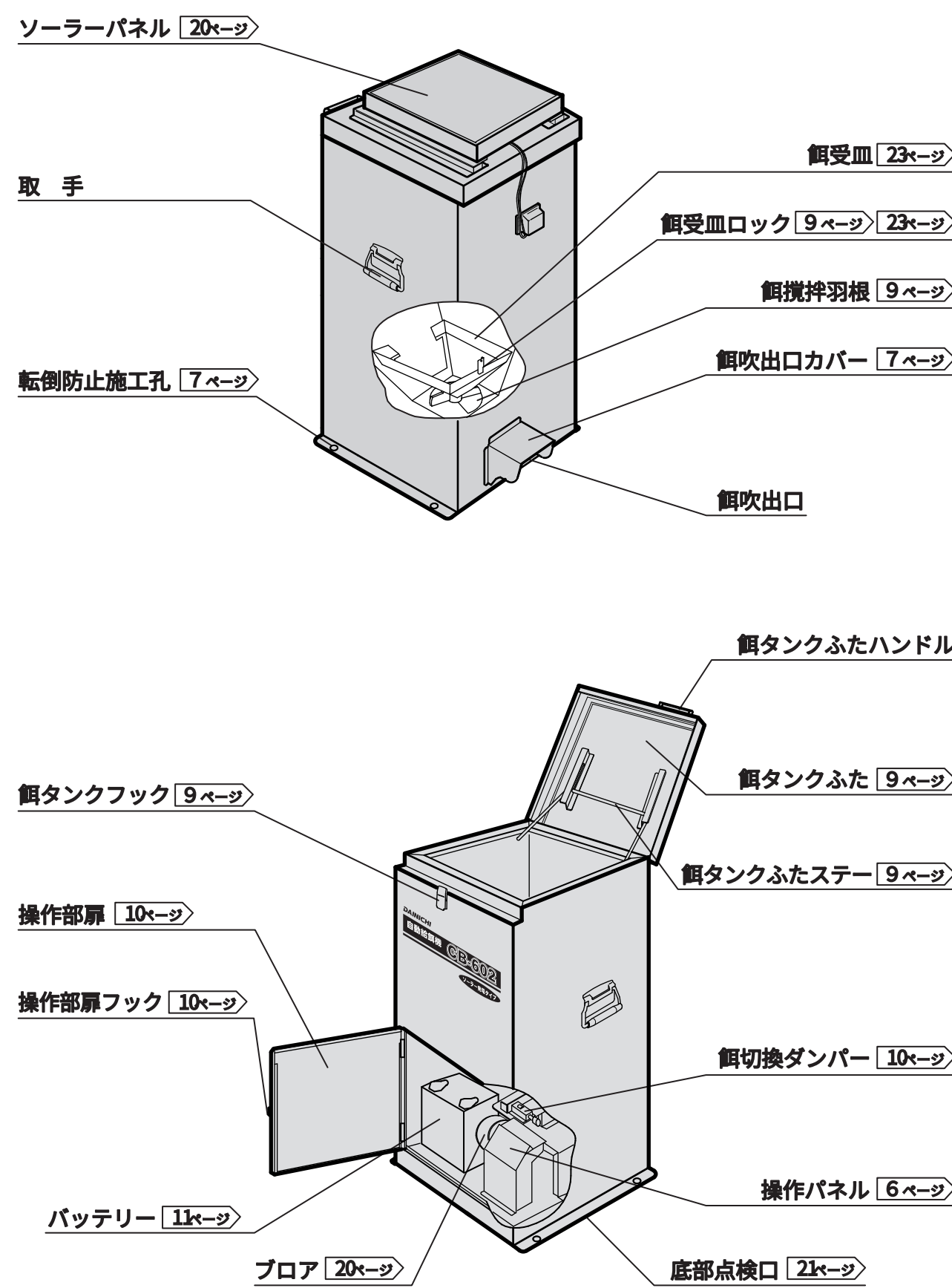
安全のために必ずお守りください

⚠ 注意

使用するとき	CB-612 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電やけがの原因になります。 	電源プラグは確実に差し込む 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。 
	電源コードを傷めない 電源コードに無理な力を加えたり、重いものをのせたり、加工したり、束ねたり、曲げたまま使用しないでください。火災・感電の原因になります。 	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 火災・感電の原因になります。 
点検	CB-602・612 分解修理・改造の禁止 故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。 	指定部品以外使用禁止 指定以外の部品を使用しないでください。性能を発揮できなくなるばかりでなく、予想しない事故の原因になります。 
	CB-602 長期間使用しないときや、保管するときは、バッテリーを取り外す 長期間使用しないときや、保管するときは、必ず餌タンクから餌をすべて取り除き、バッテリーを取り外してください。予想しない事故の原因になります。 	
その他	CB-612 電源プラグのお手入れをする ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。 	長期間使用しないときや、保管するときは、電源プラグを抜く 長期間使用しないときや、保管するときは、必ず餌タンクから餌をすべて取り除き、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。 

各部のなまえ

◀ CB-602 外観図 ▶

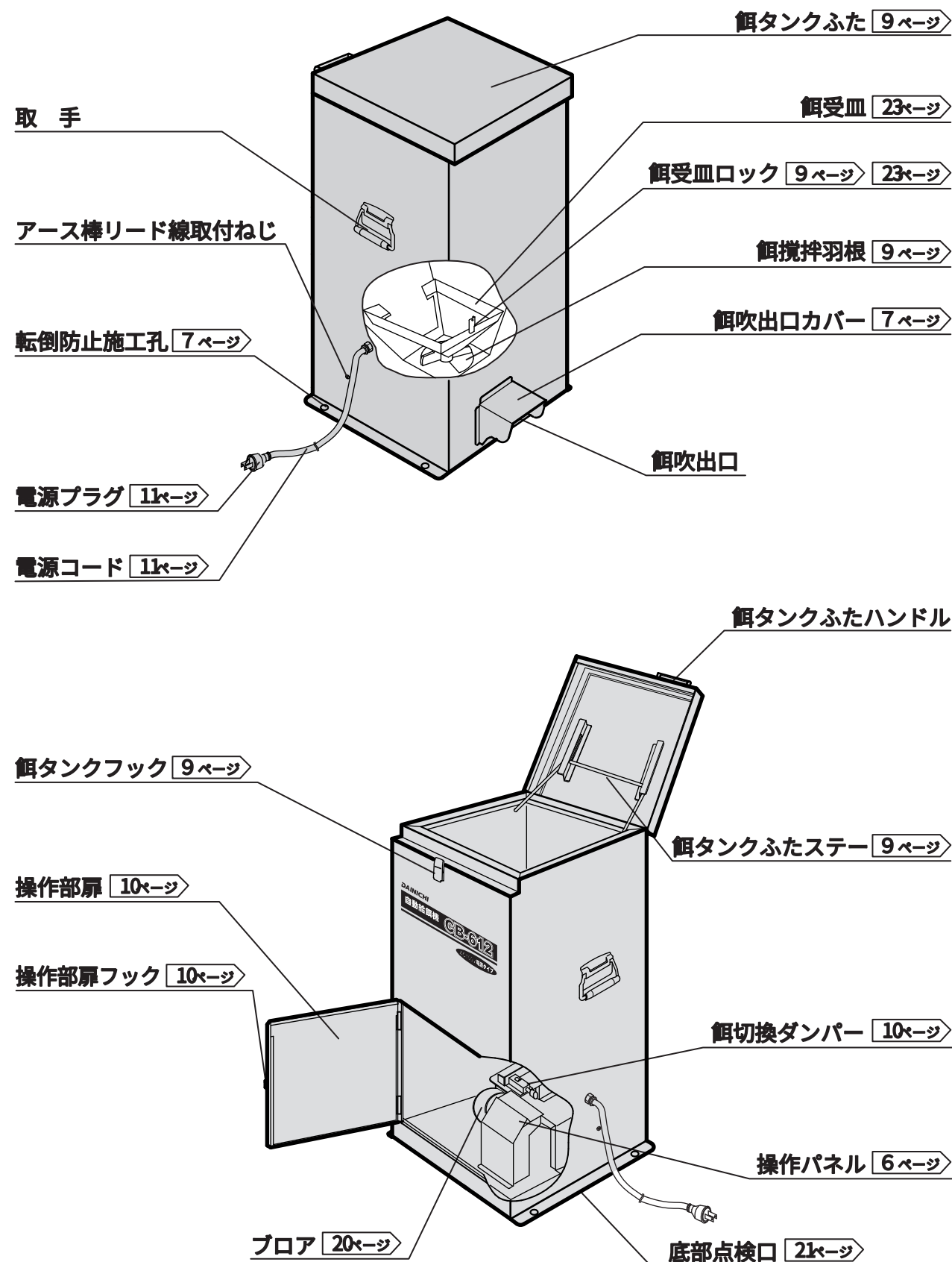


ご使用前
安全のために必ずお守りください

ご使用前
各部のなまえ

各部のなまえ

◀ CB -612 外観図 ▶

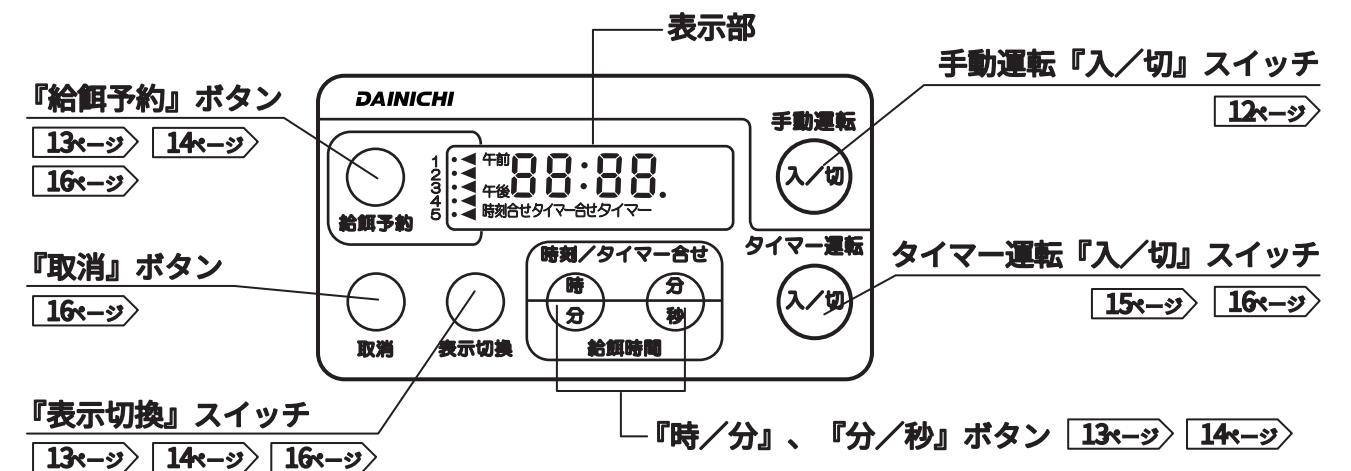


ご使用前

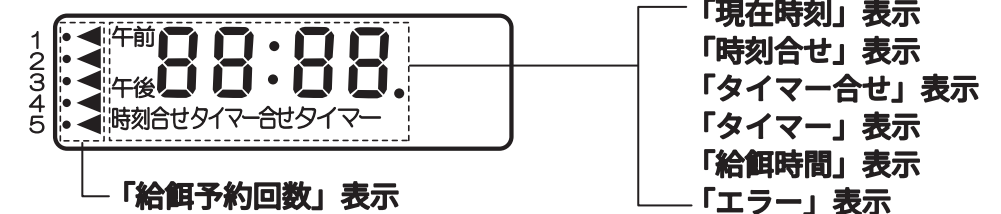
各部のなまえ

◀ 操作パネル ▶

このイラストは説明のため全部表示した状態です。
使用上、全部表示することはありません。

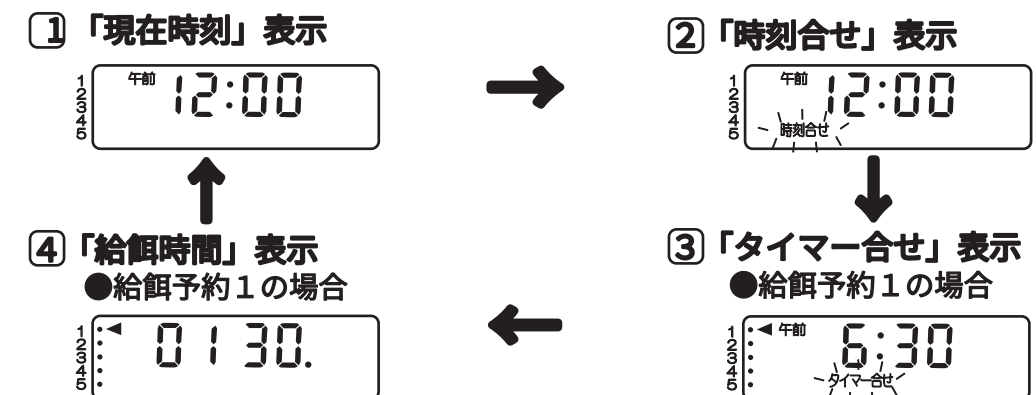


◀ 表示部 ▶



◀ 表示部の説明 ▶

【運転停止中】
表示部は『表示切換』スイッチを1回押すごとに、①～④の順に切り換わります。



【手動運転中】
「給餌時間」表示
手動運転開始からの運転時間が表示されます。
イラストは、1分28秒経過時の表示です。



【タイマー待機中、タイマー運転中】
「タイマー」表示
「現在時刻」表示と、設定した「給餌予約回数」表示が表示されます。



【エラー表示】
「エラー」表示
エラー番号が表示されます。



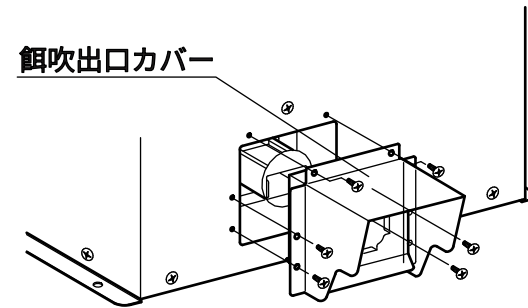
ご使用前

各部のなまえ

使用前の準備

1 餌吹出口カバーを取り付ける

- 機器の餌吹出口カバー取付ねじ6本を外し、同梱の餌吹出口カバーを取り付ける。



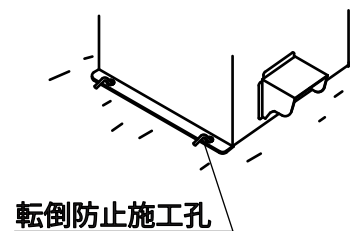
2 機器を設置する

- 機器は水平で安定した場所に設置し、転倒防止処置を確実に行ってください。
- CB-612は、同梱のアース棒を必ず機器に取り付け、処置を行ってください。

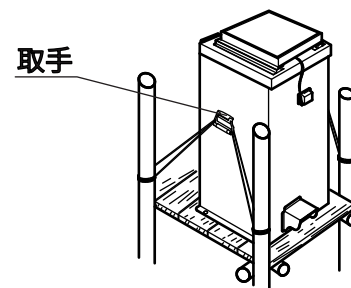
転倒防止処置のしかた

- 機器は2通りの方法で転倒防止処置が行えます。設置状況、場所により適切な処置を行ってください。

①転倒防止施工孔を利用した、ペグ、アンカーボルト (8mm) による固定

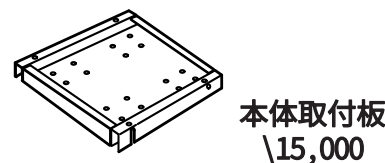


②取手を利用した、ワイヤーなどによる固定

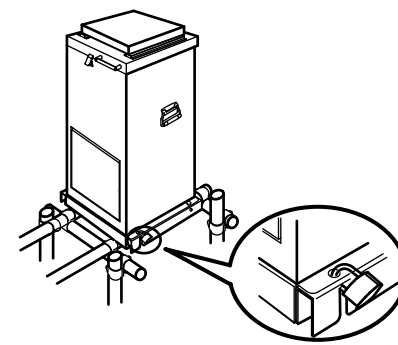


メモ

- 別売の本体取付板を用意しています。本体取付板を使用されますと、盗難防止のための施錠が可能となります。本体取付板の使用をご希望される場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し込みください。



【本体取付板施工例】



お守りください

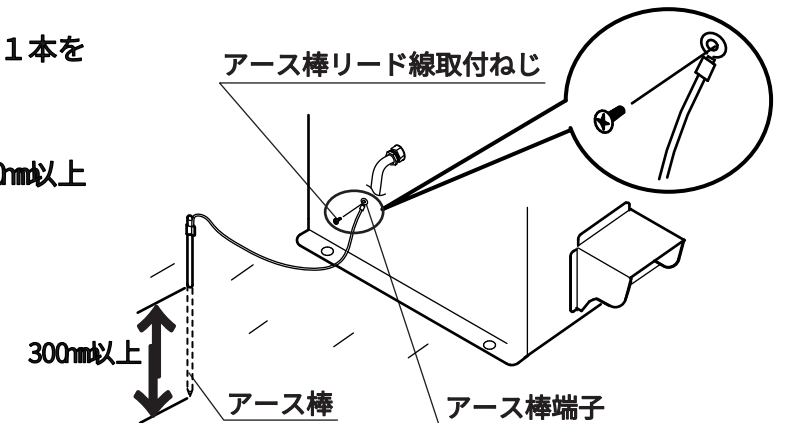
次の場所には、設置しないでください。

- 不安定な場所、転倒防止処置を行えない場所
- 直射日光のあたりにくい場所【CB-602のみ】



アース棒リード線の取り付け・処置のしかた【CB-612のみ】

- ①機器のアース棒リード線取付ねじ1本を外し、アース棒端子を取り付ける
- ②近くの地面などに、アース棒を300mm以上打ち込む



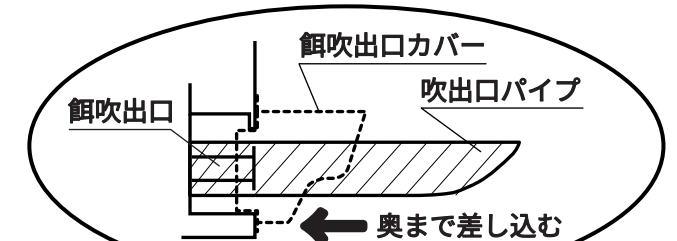
お守りください

- アース棒は確実に地面に打ち込んでください。確実に処置を行わないと感電の原因になることがあります。
- アース棒はコンクリートやセメントなどに無理に打ち込まないでください。破損するおそれがあります。機器の近くにアース棒が打ち込めない場合は、弊社アフターサービスご相談窓口へご相談ください。【裏表紙】

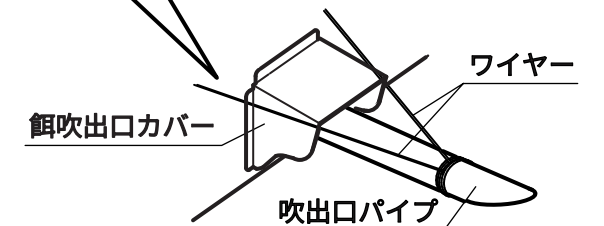
3 吹出口パイプを取り付ける

- 吹出口パイプを取り付けなくても使用できます。必要に応じ、取り付けてください。吹出口パイプの長さは、10ページの【餌の種類と吹出口パイプの長さ、餌切換ダンパーの大きさ】をめやすに決めてください。

①吹出口パイプは、奥まで確実に差し込む



②吹出口パイプをワイヤーなどで固定する



お守りください

- 吹出口パイプから雨水などが入らないよう注意してください。機器内に水が入り、餌つまりの原因となります。

メモ

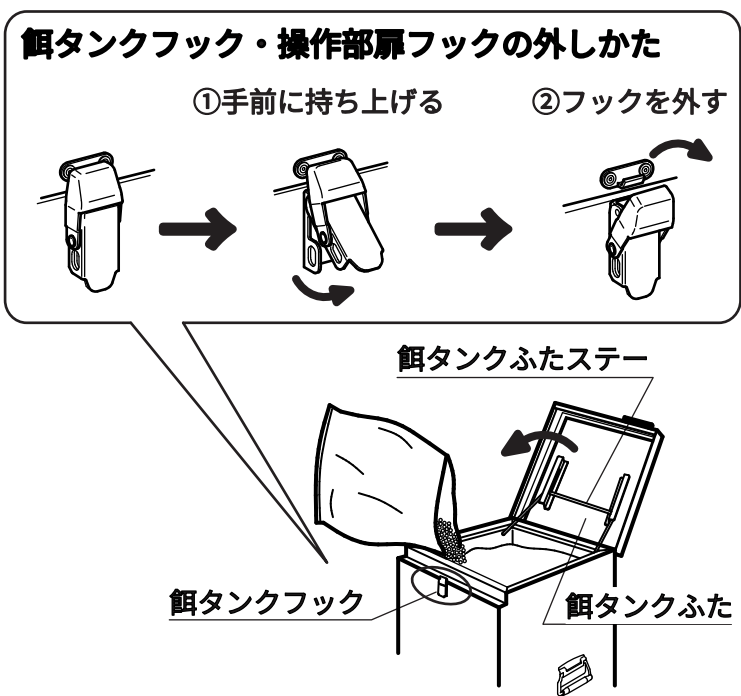
- 吹出口パイプは、ホームセンターなどでお買い求めいただくか、弊社営業所にお申し込みください。
 - ・吹出口パイプ品名・・・タテドイ (塩ビパイプ) 直径 55mm
 - ・吹出口パイプ長さ・・・0～ (最長) 1,350mm



使用前の準備

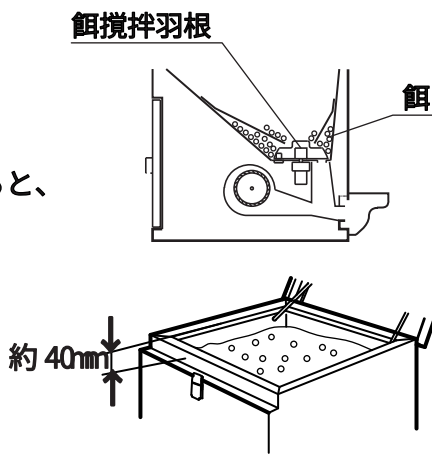
4 餌を入れる

- ①餌タンクフックを外し、餌タンクふたを開ける
※餌受皿ロックが確実に閉まっていることを確認してください。
- ②餌タンクに餌を入れる
※餌タンク内に多量の餌が残っている場合は、餌補給を行わないでください。
※餌タンク底部に残っている餌は定期的に取り除いてください。
↓
変質の恐れがあります
- ③餌タンクふたステーを手前に引き、ゆっくりと餌タンクふたを閉める
- ④餌タンクフックを確実に閉める



お守りください

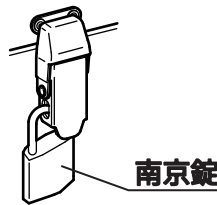
- 餌タンクに餌を入れるときは攪拌羽根が見えるくらいの餌残量で行ってください。また、餌タンク底部に排出しきれずに残った餌を定期的に取り除いてください。
餌タンク内に多量の餌が残った状態で新しい餌を補給されると、先に入れた餌が残る場合があります、変質の恐れがあります。
- 餌タンクに餌を入れるときは、餌の入れすぎに注意し、餌タンク上端から、約 40mm 程度の間隙を開けてください。
餌を入れすぎると故障の原因となります。
- 餌は乾燥粒状餌のみ使用してください。乾燥粒状餌以外は、故障の原因となります。
- 餌タンクフックは確実に閉めてください。
餌タンクフックを閉めないと、機器内に水が入り、餌つまりの原因となります。
- 雨が降っているときや、餌タンクふたの上に水が溜まっているときは、水の浸入に注意してください。機器内に水が入り、餌つまりの原因となります。



メモ

- 餌タンクフックや操作部扉フックは、いたずら防止などのための、南京錠が使用できます。
南京錠はホームセンターなどで購入してください。

【南京錠使用例】

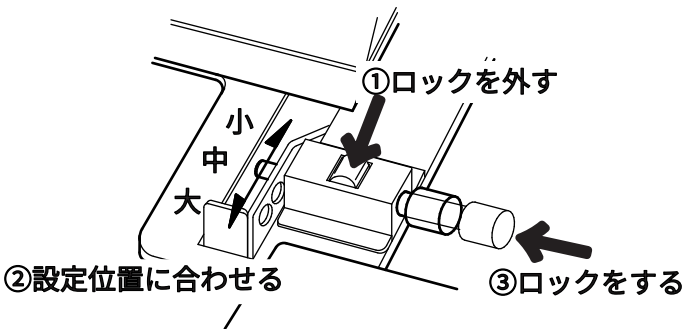


5 餌切換ダンパーを設定する

- ①操作部扉フックを外し、操作部扉を開ける
操作部扉フックの外しかたは、餌タンクフックの外しかたと同じ要領です。◀9ページ
- ②餌切換ダンパーを設定する
餌切換ダンパーは、大・中・小の3段階に切り換えられます。
【餌の種類と吹出口パイプの長さ、餌切換ダンパーの大きさ】をめやすに設定してください。

【餌切換ダンパーの設定方法】

- ①ロックを外す
- ②設定位置に合わせる
- ③ロックをする



【餌の種類と吹出口パイプの長さ、餌切換ダンパーの大きさ】

給餌量はあくまでもめやすです。餌のメーカー、形状などにより給餌量が異なりますので、手動運転にて給餌量を確認し、設定してください。

餌の種類	吹出口パイプの長さ	餌切換ダンパーの大きさと1分あたりの給餌量		
		大	中	小
浮き餌 (L玉: 9.0mm)	250mm	330g/分	250g/分	130g/分
	700mm			
	1,350mm			
沈み餌 (5.0mm)	250mm	850g/分	610g/分	310g/分
	700mm			
	1,350mm	※×	※×	
沈み餌 (2.0mm)	250mm	1,100g/分	900g/分	530g/分
	700mm			
	1,350mm	※×	※×	

※印の付いている条件は、餌つまりが発生する可能性があります。

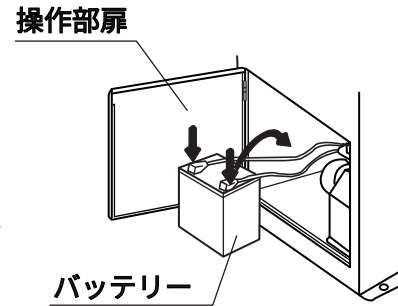
お守りください

- 餌の種類・大きさにより、吹出口パイプの長さや餌切換ダンパーの大きさを設定してください。
また、餌の種類・大きさの異なる餌を混合して使用するときも、最小の餌の大きさに合わせ、吹出口パイプの長さや餌切換ダンパーの大きさを設定してください。
- 吹出口パイプを取り付けたときは、必ず手動運転にて餌が確実に吹き出すことを確認してください。◀12ページ

使用前の準備

6 電源を接続する (CB-60 2使用の場合) バッテリーを接続する

- ①操作部扉フックを外し、操作部扉を開ける。〈9ページ〉
- ②+ (プラス：赤色) 電極を接続し、ナットを確実に閉める。
- ③- (マイナス：黒色) 電極を接続し、ナットを確実に閉める。
- ④バッテリーを機器にセットする。

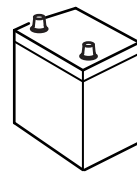


メモ

- バッテリーは指定のものをホームセンターなどでお買い求めいただくか、弊社営業所にお申し込みください。

【指定バッテリー】

- | | |
|---------|---------|
| ・38B19L | ・38B19R |
| ・40B19L | ・40B19R |



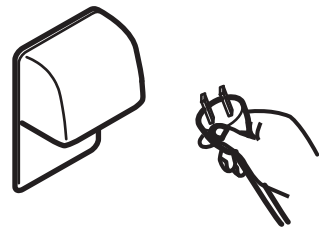
バッテリー
¥7,000(弊社価格)

お守りください

- 電極のナットは確実に閉めてください。確実に閉めないと、充電不良の原因となります。
- バッテリーは指定のものをご使用ください。指定以外のバッテリーを使用すると、性能を発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となります。
- 古くなったバッテリーは使用しないでください。
- シーズン初めなど、機器を長期間使用していなかったときは、バッテリーを充電してから、使用してください。

(CB-612使用の場合)

電源プラグをコンセント (100V) に差し込む



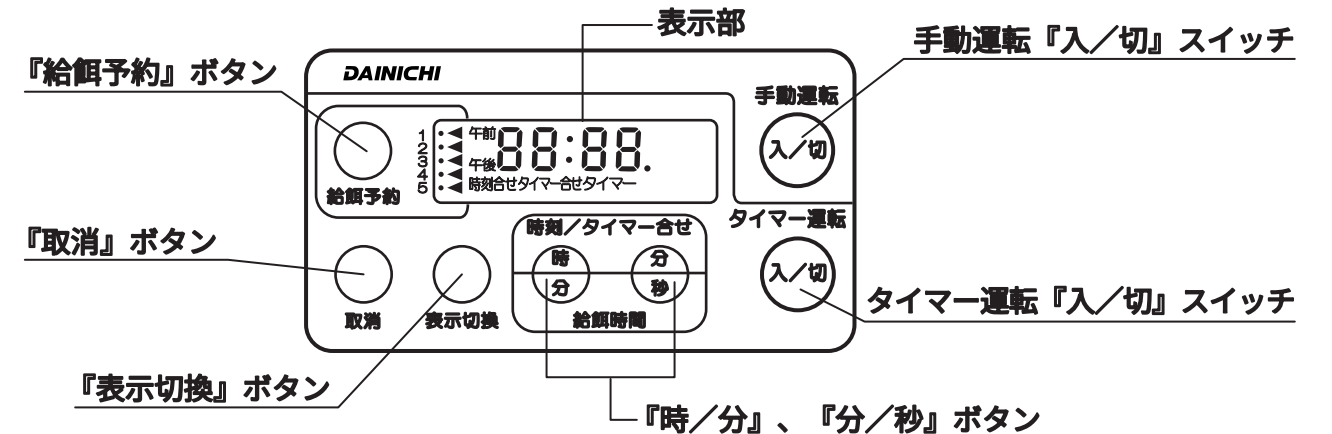
お守りください

- 200V 電源には絶対に差し込まないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。
- 電源プラグは漏電ブレーカーに接続されているコンセントを使用してください。感電や予想しない事故の原因になります。

7 試運転する

使用方法「手動運転の使いかた」に従い、餌が正常に吹き出すことを確認してください。〈12ページ〉

使用方法



手動運転・・・1回に給餌する量の餌を、どのくらいの時間で給餌するかを決めるときにお使いください。

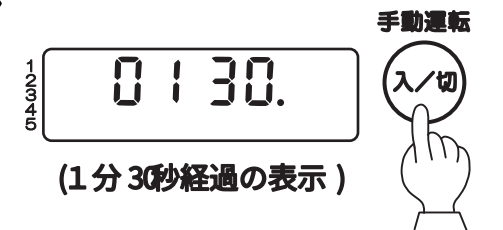
タイマー運転・毎日、同じ時刻に同じ時間、給餌したいときにお使いください。

手動運転の使いかた

- 1 餌タンクを空にする
- 2 1回に給餌する量の餌を、餌タンクに入れる
- 3 どのくらいの時間をかけて給餌するかを決め、餌切換ダンパーを設定する 〈10ページ〉
餌切換ダンパー大 ←→ 餌切換ダンパー小
短時間 長時間

4 手動運転『入/切』スイッチを押す〈運転開始〉

- 餌が確実に吹き出すことを確認してください。
- 表示部に運転開始からの時間が表示されます。手動運転は最長 30分で自動的に停止します。
- 餌タンクの餌が空になったときの操作パネルの表示部の時間が、1回の給餌にかかる時間です。



5 手動運転『入/切』スイッチを押す〈運転停止〉

お守りください

- CB-602は1日の総給餌時間が合計で30分を超えないよう注意してください。電力の消費がソーラーパネルからの電気供給を超えることがあり、バッテリー上がりの原因となります。

メモ

- タイマー運転中は、手動運転は行えません。タイマー運転『入/切』スイッチを押し、タイマー運転を停止してから手動運転を行ってください。

使用方法

タイマー運転の使い方

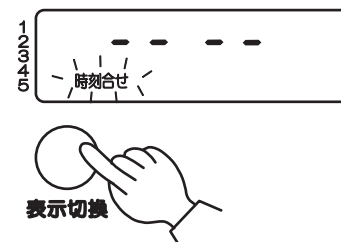
タイマー運転を使用するときは、現在時刻、予約時刻、給餌時間を合わせてください。1度合わせると、毎日同じ時刻に同じ時間、自動給餌されます。タイマー運転は1日5回まで予約ができます。

現在時刻の合わせかた

【例】現在時刻を午前8時30分に合わせる場合

1 『表示切換』ボタンを押し、「時刻合せ」表示にする

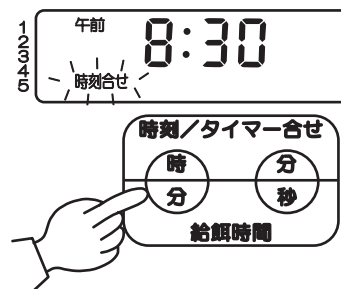
- 「時刻合せ」表示が点滅します。



2 『時/分』、『分/秒』ボタンを押し、現在時刻を合わせる

- ①『時/分』ボタンを午前8時になるまで押す
- ②『分/秒』ボタンを30分になるまで押す

ボタンを押しつづけると早送りができます。
午前と午後を間違えないよう注意してください。



3 『表示切換』ボタンを押し、「現在時刻」表示にする 6ページ

- 「時刻合せ」表示が消え、「現在時刻」が表示されます。



給餌予約の合わせかた

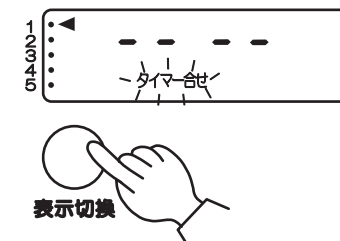
予約時刻の合わせかた

【例】給餌予約1・・・予約時刻を午前6時30分に合わせる場合
給餌予約2・・・予約時刻を午前10時20分に合わせる場合

【給餌予約1】

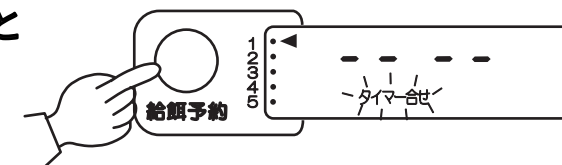
1 『表示切換』ボタンを押し、「タイマー合せ」表示にする

- 「タイマー合せ」表示が点滅します。



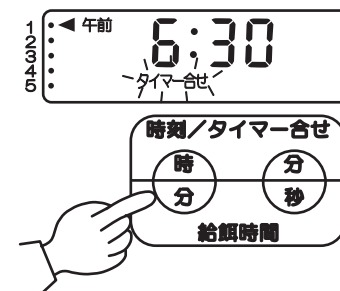
2 「給餌予約回数」表示 (◀) が1であることを確認する

- 1でなければ、『給餌予約』ボタンを押し、1に合わせてください。



3 『時/分』、『分/秒』ボタンを押し、予約時刻を合わせる

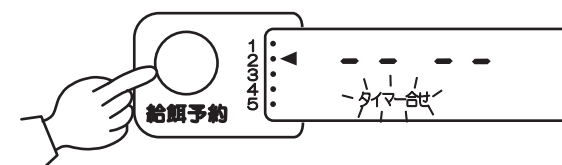
- ①『時/分』ボタンを午前6時になるまで押す
 - ②『分/秒』ボタンを30分になるまで押す
- ボタンを押しつづけると早送りができます。
午前と午後を間違えないよう注意してください。



給餌予約1の予約時刻合わせが完了しました。

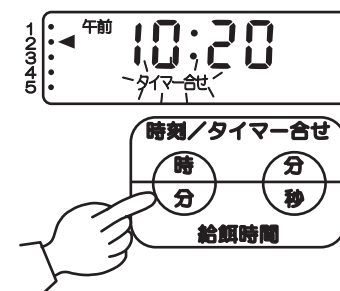
【給餌予約2】

4 『給餌予約』ボタンを押し、「給餌予約回数」表示 (◀) を2に合わせる



5 『時/分』、『分/秒』ボタンを押し、予約時刻を合わせる

- ①『時/分』ボタンを午前10時になるまで押す
 - ②『分/秒』ボタンを20分になるまで押す
- ボタンを押しつづけると早送りができます。
午前と午後を間違えないよう注意してください。



給餌予約2の予約時間合わせが完了しました。

※給餌予約3～5回目を予約するときは、4、5を繰り返し行ってください。

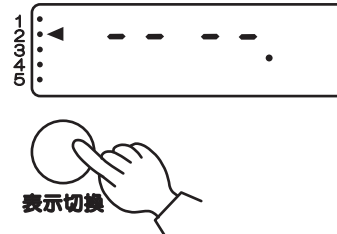
使用方法

給餌時間の合わせかた

【例】給餌予約1・・・予約時刻が午前6時30分で、給餌時間を1分30秒に合わせる場合
給餌予約2・・・予約時刻が午前10時20分で、給餌時間を2分20秒に合わせる場合

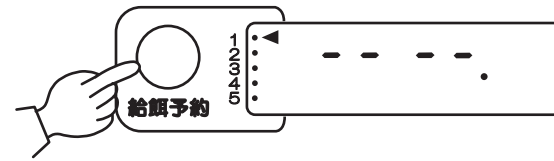
【給餌予約1】

1 『表示切換』 ボタンを押す



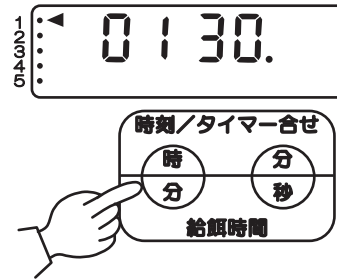
2 「給餌予約回数」表示 (◀) が1であることを確認する

●1でなければ、『給餌予約』ボタンを押し、1に合わせてください。



3 『時/分』、『分/秒』 ボタンを押し、給餌時間を合わせる

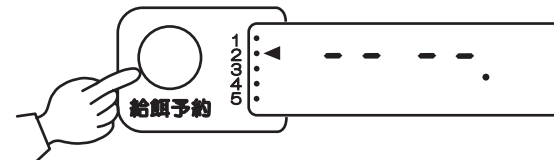
- ①『時/分』ボタンを1分になるまで押す
 - ②『分/秒』ボタンを30秒になるまで押す
- ボタンを押しつづけると早送りができます。



給餌予約1の給餌時間合わせが完了しました。

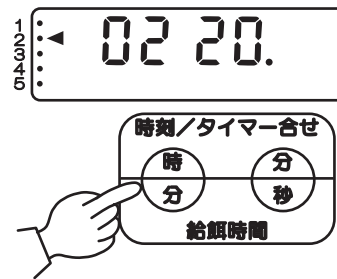
【給餌予約2】

4 「給餌予約」ボタンを押し、「給餌予約回数」表示 (◀) を2に合わせる



5 『時/分』、『分/秒』 ボタンを押し、給餌時間を合わせる

- ①『時/分』ボタンを2分になるまで押す
 - ②『分/秒』ボタンを20秒になるまで押す
- ボタンを押しつづけると早送りができます。



※給餌予約3～5回目を予約するときは、4、5を繰り返し行ってください。

6 『表示切換』ボタンを押し、「現在時刻」表示にする



給餌予約2の給餌時間合わせが完了しました。

タイマー運転の開始と表示確認

1 現在時刻を確認する

●現在時刻を合わせていないと、タイマー運転は行えません。



2 タイマー運転『入/切』スイッチを押す

●手動運転中は、タイマー運転は行えません。



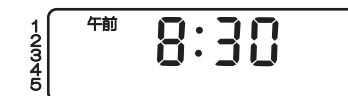
タイマー運転



《 便利な機能 》

タイマー運転『入/切』スイッチを押すと、給餌予約の内容が自動表示され、内容を確認することができます。

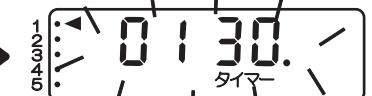
① 現在時刻の表示



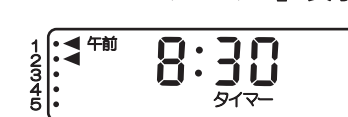
② 給餌予約1の予約時刻の表示



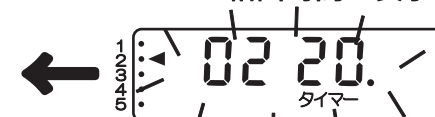
③ 給餌予約1の給餌時間の表示



⑥ 「現在時刻」表示と「タイマー」表示



⑤ 給餌予約2の給餌時間の表示



④ 給餌予約2の予約時刻の表示



※給餌予約3～5回目を予約した場合、④、⑤が繰り返し表示されます。

タイマー運転の停止

1 タイマー運転『入/切』スイッチを押す

●表示部の「タイマー」表示が消え、「現在時刻」表示だけが表示されます。
タイマー運転の停止は、完了しました。



タイマー運転



使用方法

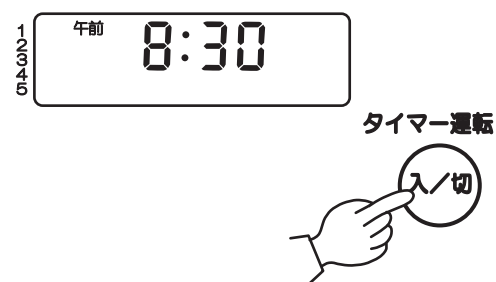
給餌予約の取り消しかた

給餌予約の取り消しかた

【例】給餌予約1・・・午前6時30分の予約時刻で、給餌時間1分30秒を取り消す場合
給餌予約2・・・午前10時20分の予約時刻で、給餌時間2分20秒を取り消す場合

【給餌予約1】

1 タイマー待機中、タイマー運転中の場合は、タイマー運転『入／切』スイッチを押し、「現在時刻」表示にする

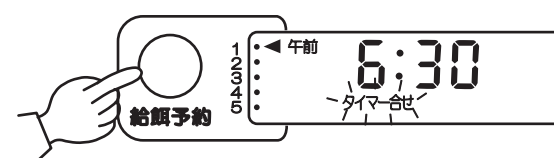


2 『表示切換』ボタンを押す

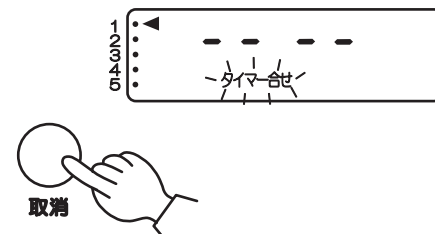


3 「給餌予約回数」表示 (◀) が1であることを確認する

●1でなければ『給餌予約』ボタンを押し、1に合わせてください。



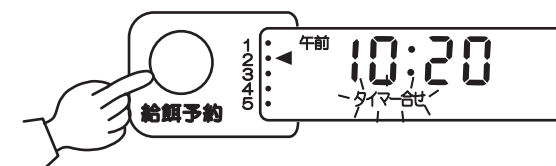
4 『取消』ボタンを押す



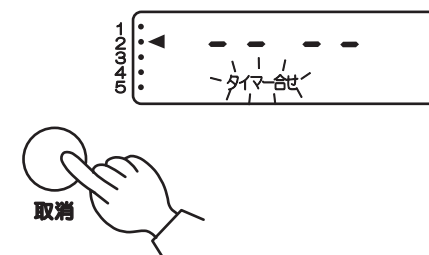
給餌予約1の取り消しが完了しました。

【給餌予約2】

5 『給餌予約』ボタンを押し、「給餌予約回数」表示 (◀) を2に合わせる



6 『取消』ボタンを押す



※給餌予約3～5回目の取り消しを行う場合は、5、6を繰り返し行ってください。

7 『表示切換』ボタンを押し、現在時刻表示にする



給餌予約2の取り消しが完了しました。

再度、給餌予約したい場合は、改めて給餌予約してください。◀14ページ▶

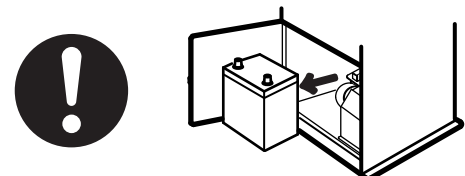
点検・お手入れのしかた

定期的に次の点検・お手入れを行ってください。
また、定期的に機器が正常に動作しているか確認してください。

お守りください

点検・お手入れを行うときは、次のことを必ず守ってください。

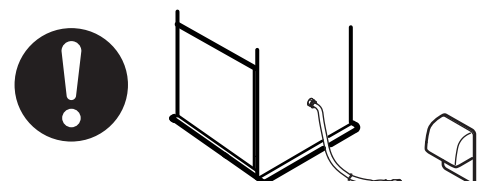
- CB-602は、機器からバッテリーを取り外してください。



- 機器の汚れを拭き取るときは、ベンジン・シンナーなどを使用しないでください。表面に傷が付いたり、変色するおそれがあります。特に汚れがひどい場合は、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いてください。

- お手入れを行うときは、必ず、手袋を着けてください。けがをするおそれがあります。

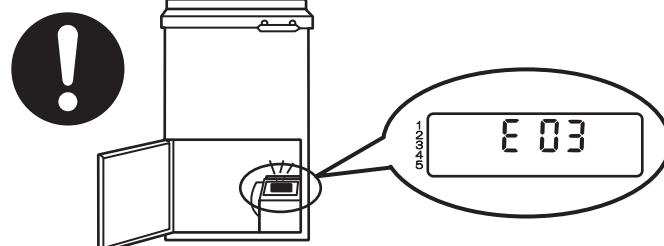
- CB-612は、電源プラグを抜いてください。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電・発火・故障の原因になります。



餌補給のたびに

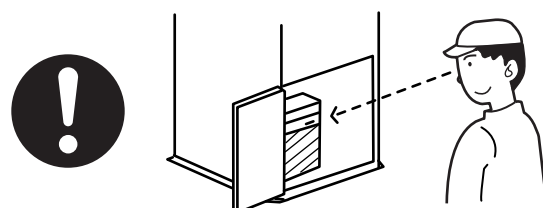
エラー表示が現れていないか確認する

- エラー表示が現れているときは25ページの処置方法に従ってください。



バッテリーの状態は“良好”か確認する【CB-602のみ】

- バッテリーに同梱されている説明書をお読みください。



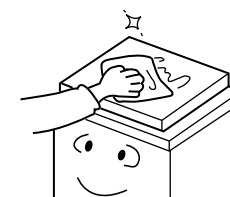
餌補給のたびに

機器のお手入れをする

- 機器をよく絞った布で拭いてください。機器を水中または液中に浸漬したり、水をかけて洗い流したりしないでください。機器内に水が入り、故障の原因となります。

ソーラーパネルのお手入れをする【CB-602のみ】

- ソーラーパネルのごみやほこりを拭き取る。柔らかい布またはスポンジに水を少し付け表面を掃除してください。水の使用は最小限にし、水中または液中に浸漬したり、水をかけて洗い流したりしないでください。故障の原因となります。木の葉・鳥の糞などが付着した場合は速やかに取り除いてください。



3ヶ月に1回程度

餌タンク内に、餌が入っていないことを確認してからお手入れを行ってください。

注意

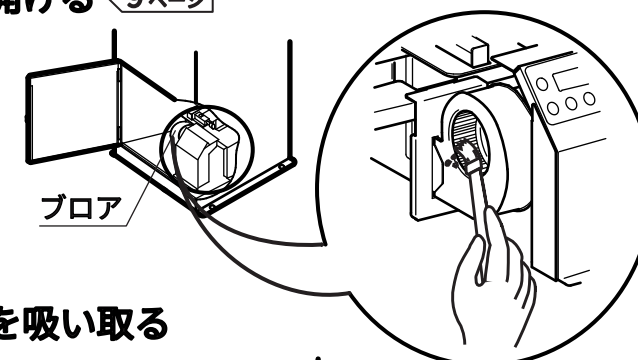
- お手入れを行うときは、CB-602は、機器からバッテリーを取り外し、CB-612は、電源プラグをコンセントから抜いてください。予想しない事故の原因になります。



ブローアのお手入れのしかた

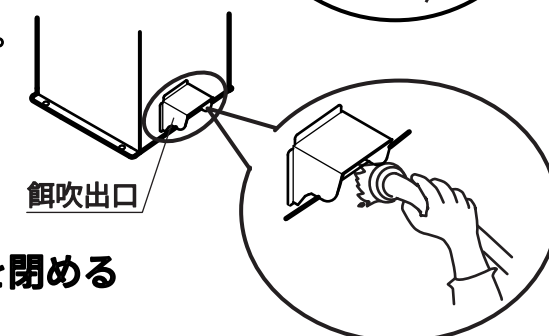
1 操作部扉フックを外し、操作部扉を開ける 9ページ

2 ブローアを小さなハケなどで掃除する



3 餌吹出口側から掃除機で、ごみなどを吸い取る

- 掃除機の先端は、金属でないものを使用してください。
- 餌吹出口やその他の部品に無理な力は、かけないでください。



4 操作部扉を閉め、確実に操作部扉フックを閉める

お守りください

- ブローア内には、絶対に手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

点検・お手入れのしかた

6ヶ月に1回程度

餌タンク内に餌が入っていないことを確認し、操作部扉フック・餌タンクフックを確実に閉め、お手入れを行ってください。

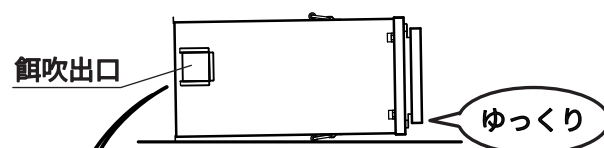
注意

お手入れを行うときは、CB-602は、機器からバッテリーを取り外し、CB-612は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
予想しない事故の原因になります。

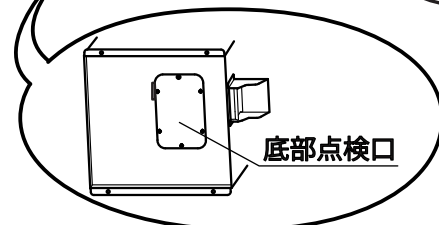


給餌経路のお手入れのしかた

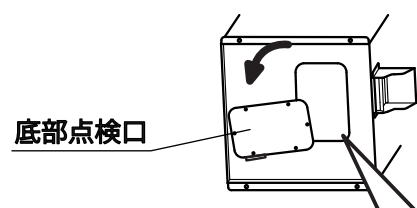
1 餌吹出口に向かい、機器を右側に倒す



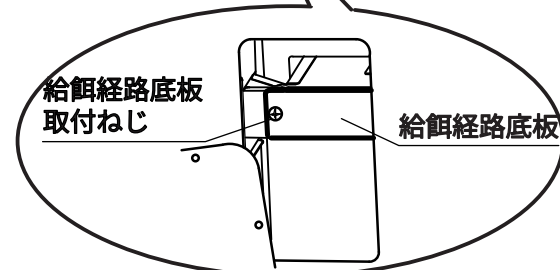
2 底部点検口取付ねじ6本を外す



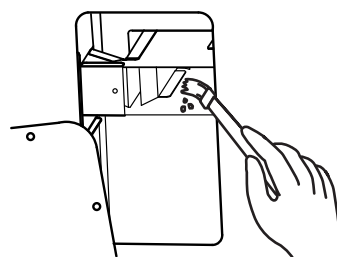
3 底部点検口を左側にスライドさせる



4 給餌経路底板取付ねじ1本を外し、給餌経路底板を外す



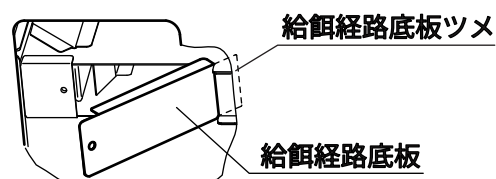
5 給餌経路内を小さなハケなどで掃除する
●餌の粉が付着していますので、取り除いてください。



6 外したときと逆の順序で取り付ける

お守りください

- 給餌経路底板は、ツメを確実に給餌経路内に入れ、給餌経路底板取付ねじ1本で、取り付けてください。
- 取り外したねじは紛失しないよう注意してください。



6ヶ月に1回程度

餌タンク内に餌が入っていないことを確認し、操作部扉フック・餌タンクフックを確実に閉め、お手入れを行ってください。

注意

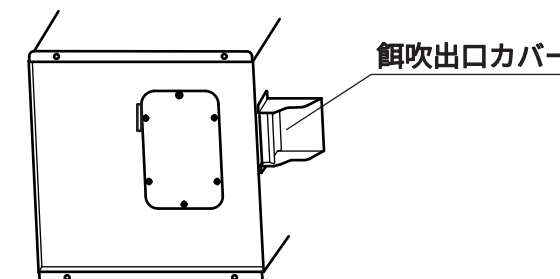
- お手入れを行うときは、CB-602は、機器からバッテリーを取り外し、CB-612は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
予想しない事故の原因になります。



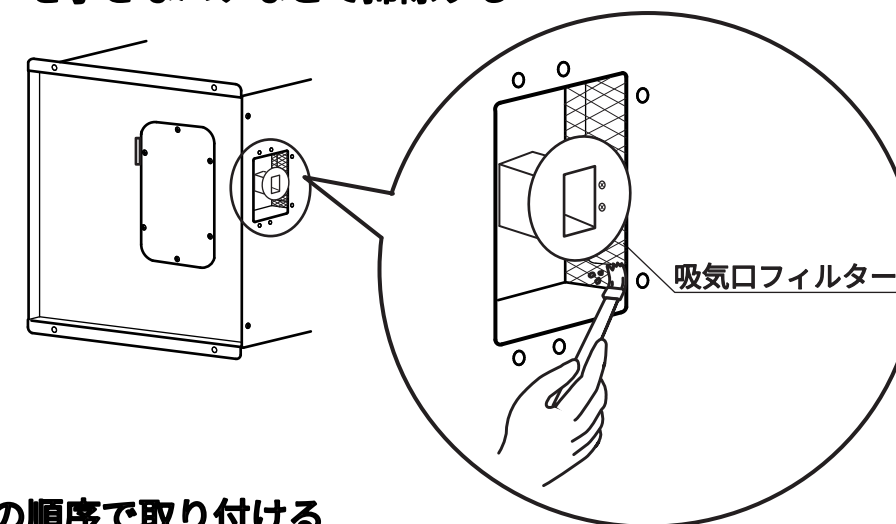
吸気口フィルターのお手入れのしかた

本体を倒したまま、お手入れを行ってください。

1 餌吹出口カバー取付ねじ6本を外し、餌吹出口カバーを取り外す [7ページ](#)



2 吸気口フィルターを小さなハケなどで掃除する



3 外したときと逆の順序で取り付ける

4 機器を立てる

お守りください

- 取り外したねじは紛失しないよう注意してください。

保管のしかた（長期間使用しないとき）

長期間使用しないときは、次の手順に従って機器を保管してください。

1 餌タンクから餌をすべて取り除く

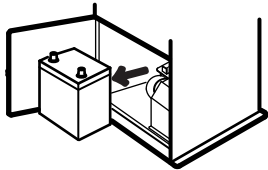
- 餌タンクふたを開け、餌を取り出してください。少量であれば、手動運転にて餌を放出してください。 [12ページ](#)



2 電源を抜く

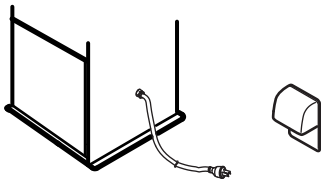
（CB-60 2使用の場合）

- 機器からバッテリーを取り外してください。

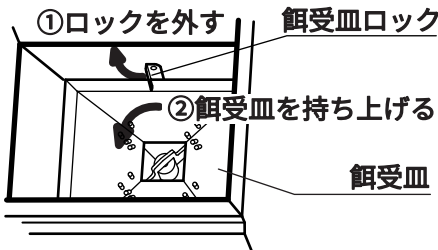


（CB-612使用の場合）

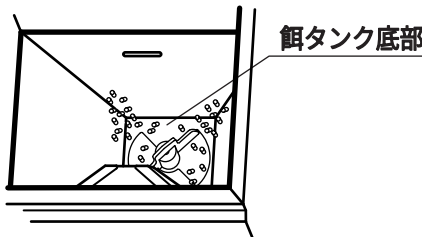
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。



3 餌受皿のロックを外し、餌受皿を持ち上げる



4 餌タンク底部に溜まった餌を取り除く



5 餌受皿を元に戻し、ロックする

- 確実にロックをしてください。

6 餌吹出口付近に餌が溜まっていないか確認する

- 餌が溜まっている場合は取り除いてください。

7 機器の汚れをきれいに拭き取る

8 湿気の少ない場所に保管する

メモ

- シーズン初めは、バッテリーを充電してから使用してください。

お守りください

- バッテリーは横倒しの状態で保管しないでください。
バッテリー内の液漏れにより、予想しない事故の原因になります。

異常のお知らせと処置方法

【修理を依頼する前に】

次の症状は故障ではありません。修理を依頼する前に1度ご確認ください。

症 状	原 因	処 置 方 法
運転を開始しない	CB-602 バッテリーが接続されていない	バッテリーを接続する 11ページ
	CB-612 電源プラグがコンセントから外れている	電源プラグを確実にコンセントに差し込む 11ページ
表示が消えている	CB-602 バッテリーの接続が不十分	バッテリーに端子を正しくセットする 11ページ
	CB-602 バッテリーの＋，－を間違えている	
	CB-612 電源プラグがコンセントから外れている	電源プラグを確実にコンセントに差し込む 11ページ
タイマー運転を開始しない	タイマー運転がセットされていない	タイマー運転をセットする 13ページ

異常のお知らせと処置方法

【異常の原因と処置のしかた】

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現れたときは、適切な処置を行ってください。

表示部 (エラー表示)	原 因	処 置 方 法
E 01	攪拌モーターがロックしている	餌攪拌羽根に異物が挟まっていないか確認し、異物を取り除いた後、『取消』ボタンを押し、エラーを解除する <23ページ>
E 02	バッテリーが上がっている (バッテリー過放電)	バッテリーを充電するか、新しいものと交換する <11ページ>
E 03	ブロアがロックしている	ブロア内に異物が挟まっていないか確認し異物を取り除いた後、『取消』ボタンを押し、エラーを解除する <20ページ>
F 08 ~ F 0F	修理・点検が必要な故障です。	お買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください <裏表紙>

症 状	原 因	処 置 方 法
餌が出ない	餌が入っていない	餌を補給する <9ページ>
	給餌経路内に餌がつまっている	給餌経路内の餌を取り除く <21ページ>
	ブロアが目づまりしている	ブロアの掃除をする <20ページ>

処置を行っても直らないとき、上記以外の表示がでたとき

- 故障が考えられますので、お買い上げの販売店または弊社営業所にご相談ください。故障したまま使用しつづけると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

廃棄するときは

- 廃棄するときは、機器からバッテリーを取り外してください。【CB-602のみ】
- 不要なバッテリーを廃棄するときは、バッテリーをお買い求めの販売店にご相談するか、産業廃棄物として、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

アフターサービス

【アフターサービスの依頼】

- 修理・点検が必要になった場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください。

【保証について】

- 保証書**
 - 販売店にて必要事項を記入の上、お渡ししますので、記入内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証期間**
 - 保証期間は1年間です。修理の際は保証書をご提示ください。
なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後は**
 - 販売店にご相談ください。修理によって機能が維持される場合は、ご要望により有料修理致します。

【補修用性能部品について】

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本機器の補修用性能部品は、製造打切り後6年保有しています。

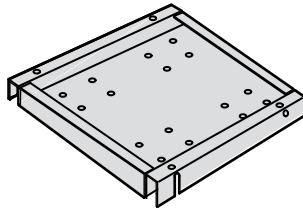
愛情点検				長年ご使用の給餌機の点検を！	
	こんな 症状は ありま せんか	・電源プラグ・コードが異常に熱くなる。 ・電源コードに傷が付いている。 ・電源コードに触れると通電したり、しなかったりする。 ・運転中、異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。		ご使用 中止	故障や事故防止のためスイッチを切り、CB-602はバッテリーを取り外し、CB-612はコンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください。

仕 様

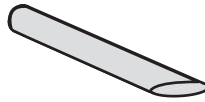
型 名	CB-602	CB-612
外 形 寸 法	(高)860×(幅)410×(奥)430mm (ソーラーパネル含む)	(高)800×(幅)410×(奥)430mm
質 量	約 25.0kg (バッテリー含まず)	約 25.0kg
餌 タ ン ク 容 量	60L (40kg)	
定 格 電 圧	DC 12V	AC 100V
定 格 周 波 数	—————	50/60Hz
定格消費電力 (運転時)	31W	52/52W
対 象 餌	乾燥粒状餌	
付 属 品	餌吹出口カバー	餌吹出口カバー、アース棒

部品のご注文について

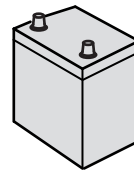
次の部品は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にご注文ください。



本体取付板
¥ 15,000



吹出口パイプ
(タテドイ 直径 55mm)
¥ 1,000



バッテリー
(40B19 相当)
¥ 7,000

この価格は本機器用です。(税別)
価格は予告なく変更することがあります。



〒 950-1295 新潟県白根市大字北田中 780-6
ホームページ <http://www.dainichi-net.co.jp/>

東京営業所	〒 101-0021 千代田区外神田 2-13-7 ダイニチ神田ビル	☎ 03(3258)3841代
大阪営業所	〒 564-0044 大阪府吹田市南金田 2-6-6	☎ 06(6330)1431代
仙台営業所	〒 984-8651 仙台市若林区卸町 3-1-15	☎ 022(235)8621代
新潟営業所	〒 950-1295 新潟県白根市大字北田中 780-6	☎ 025(362)1140代
高崎営業所	〒 370-0043 群馬県高崎市高関町 345	☎ 027(328)0501代
宇都宮営業所	〒 320-0838 宇都宮市吉野 2-1-12	☎ 028(636)9411代
名古屋営業所	〒 461-0028 名古屋市東区東大曾根町本通 7-789-1 第一生命ビル	☎ 052(721)667代
広島営業所	〒 731-0137 広島市安佐南区山本 1-4-25	☎ 082(875)8851代
福岡営業所	〒 812-0014 福岡市博多区比恵町 16-24 第六よしみビル	☎ 092(474)0731代

ご不明な点に関するお問い合わせは

アフターサービスご相談窓口へ (通話料無料)

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

こんなことで
お困りのとき

- 使用方法がよくわからない
- お手入れの方法がよくわからない
- 異常時の対処方法がわからない

受付時間 (11月～1月) 9:00～19:00 (土は～17:00まで、日・祝日・年末年始は休み)
(2月～10月) 9:00～12:00 13:00～17:00 (土・日・祝日は休み)